

平成21年度 学習プログラム（学習年間計画表）

（1 / 2）

実施する学年	3 学年	単位数	3	教科	国語	科目名	古典	
教材	教科書	古典	古文編（第一学習社）	副教材	基礎からの古典文法・図説国語			
科目の目標								
<ul style="list-style-type: none"> ・古典の学力向上のため、基本的な文法事項を完全に理解させるとともに、各作品の文学的位置づけ、その他必要事項について把握させる。 ・国際化社会の養成にこたえうよう、古典として価値の高い作品から教材を通して、文化と伝統について考察と理解が深まるようにする。 ・随筆という文学ジャンルの総括をする。 ・長編物語を構成する主人公と諸人物の人間関係の諸相を理解する。 ・評論を読むことで、日本固有の文学や芸術を創り育て、長く継承してきた人々の真摯な思いを理解し、芸術文化を尊重する気持を養う。 								
月	時間	章・単元	学習内容・ねらい					
4	3	『枕草子』 宮に初めて参りたるころ	・指名読みをする。注意すべき動詞を中心に、動詞の活用の種類、活用表がきちんと理解できているか確認する。					
	1		・形容詞、形容動詞の活用の種類と、見分け方を復習し、活用表がきちんと書けるか確認する。					
	5		・助動詞の種類、意味、接続「に」の識別に注意しながら、文法事項をノートに整理する。					
	3		・口語訳をしながら、正確な口語訳ができるように学習する。					
	1		・第一段落の内容がきちんと理解できているか確認し、夜の宮仕えにおいて、そのとき何を「はずかしい」と感じているかを指摘する。					
5	1		・第二段落が朝の情景であり、恥ずかしがる清女に対して、中宮がどんな配慮をしておられるか注意する。					
	3		・第三段落、昼間のお召し。第四段落、伊周の登場。第五段落、第六段落と、この展開の中で清女の緊張の高まりを、言葉の面からとらえる。					
	1		・第七段落から終わりまでの展開を、理解する。					
	1		文学史	・随筆文学と、清少納言・紫式部について整理する。				
前期中間試験								
6	1	『源氏物語』 紫の上の死	・『源氏物語』の文学史を、「紫の上」を中心に理解する。					
	5		・本文を読む。第一段落をノートに書き写し、敬語に注意しながら、動詞の活用の種類、活用形を書く。					
	1		・時の助動詞を基本的な意味、用法の特徴に従って整理する。					
	4		・敬語表現の種類、重要語の解説をしながら、助動詞の意味がきちんと理解できているか確認しながら口語訳をする。					
	1		・敬意の対象を把握する。					
	1		・第一段落では、紫の上の死をどのような形容詞を用いて述べているか、調べる。					
7	2		・紫の上の死は、人々の心にどのような悲しみを与えているか、考える。致仕の大臣の場合、一般の人々の場合、源氏自身の場合、冷泉院の後の宮の場合					
	1		・源氏は、致仕の大臣と冷泉院の後の甲問を、それぞれどのような気持ちで受けとめているか、比較して考える。					
	1		・主題と世代交代、作品全体の主題について把握する。					
9								
前期期末試験								

平成21年度 学習プログラム（学習年間計画表）

（2 / 2）

			教科	国語	科目名	古典
月	時間	章・単元	学習内容・ねらい			
9 10	1	『俊頼髓脳』 歌のよしあし	・ 作品・作者について、理解する。			
	3		・ 音読する。用語の活用の種類、活用形をノートに整理する。			
	5		・ 助動詞の訳出に注意させながら全文を口語訳する。			
	1		・ 「けれ」を抜き出し、文法的に説明する。			
	1		・ 係り結びの法則と、結びの省略の確認をし、省略語の補い方を理解する。			
	1		・ 会話文について、話し手が誰か把握する。			
	1		・ 和歌の技巧に関する基本的な知識を確認する。			
	2		・ 引用されている和泉式部の二首の歌について、表現技巧を比較し、具体的に読み込まれたことを確認する。			
	1		・ この文章からうかがわれる、公任の和歌の評価基準を考える。			
	11		1	『正徹物語』 初心の心得	・ 『正徹物語』および、正徹について説明を聞く。	
4		・ 二人が分担して読む。用語の活用の種類。活用形がきちんとできているか確認する。				
1		・ 助動詞「たり」「り」を、存続か完了かを前後の文脈で判断する。				
1		・ 「べし」の意味、用法を確認し、「む」と「べし」の違いについて考える。				
1		・ 比況の助動詞「やうなり」の活用表の板書の説明を聞き、「比況」と「例示」の違いを理解する。				
3		・ その他の助動詞の意味・用法を確認し、文末の表現に注意する。				
12	2		・ 歌論独自の用語については脚注を参考にしながら、語句の解説を聞く。			
	3		・ 口語訳をする。			
	1		・ 和歌の技巧について発表する。			
	1		・ 対照されている語句や、対照的な歌のよみ方、同じ内容を表す語句を抜き出す。			
	1		・ 初心のときの歌のよみ方について、要点をまとめる。			
	1		・ 主題について考え、全体のまとめをする。			
卒業試験						